

全国連盟通信

第30期 No.5
2013年 4月26日
発行責任者
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: cbf31680@pop02.odn.ne.jp URL <http://www.njsf.net>

つなごう 支援の輪

理事会、都道府県連盟、種目組織の力を一つに課題・方針をやり抜こう

新日本スポーツ連盟会長 永井 博

理事会を終えて、脳裏をよぎる思いは、評議員会終了時と同じです。「力を合わせて着実に、確実に活動を推し進め、組織を大きくしよう」、「種目を超えて、地域を超えて、連盟として心をつなごう」というものです。

しかし、少し違うところもあります。この二つの思いは、並列ではないということです。着実に、確実に活動が推し進められなければ、心は一つにはならないのです。

したがって、問われているのは、スポーツ連盟の執行機関である理事会として、その決定事項をやり遂げることに、どう責任を持って取り組むかということです。とりわけ、スポーツ連盟の中心をなしているスポーツ活動・組織局の課題・方針を、スポーツ連盟の総力をあげて実現していく体制・活動をどう作り上げるかです。

一義的には、もちろんスポーツ活動・組織局の問題ですが、理事会全体の問題として、都道府県連盟・種目組織の問題として、双方向の情報のやり取りを活発に行い、体制・活動を作り上げましょう。スポーツ活動・組織局の報告と重なるかもしれませんが、私なりにコメントしたいと思います。



理事会ではスポーツ活動・組織局会議を経て、8月4日広島県連盟結成に向けて、準備に入ることが提起されました。併せて、同日「中国、四国、九州地域での組織拡大をめざす活動経験交流集会」も提案されました。

この結成、集会の取り組みを、絶対にやり抜きましょう。県連盟の結成ということでは、青森、茨城、奈良、熊本の名があがっています。これらの県で連盟が立ち上がるならば、活動・組織強化にとって大きな弾みになるでしょう。

理事会では、子ども・女性・障害者の各分野についても、昨年ほとんど取り組めなかった反省にたって、担当者を決め、体制を作って、打開を図っていくことが確認されました。この分野別の活動も絶対にやり抜きましょう。

CONTENTS

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 2 第30期第5回理事会。広島県連盟づくり | 6 創立50周年7大記念行事の分担。第31期機構・役員検討委員会の設置。「体罰」・暴力根絶について。他 |
| 3 スポーツ活動・組織局からの報告と提案より | 7 全国会議及び主要事業予定一覧。他 |
| 4 スポーツ権・平和運動局の2013年度の活動方針 | 8 「スポーツのひろば」の購読をオススメします！ |
| 5 CSIT(国際勤労者・アマチュアスポーツ連盟)に加盟することの継続検討 | |

第 30 期第 5 回理事会

第 30 期第 5 回理事会は、4 月 13 日～14 日の 2 日間、東京の豊島区東部区民事務所で開催されました。出席は、理事 30 名と会長・副会長 3 名でした。

この理事会では、第 30 期第 1 回評議員会（2 月）の会議運営総括、CSIT（国際勤労者・アマチュアスポーツ連盟）加盟についての討論、各局の会議と全体討論、創立 50 周年記念事業の具体化のための役割分担、スポーツ団体の社会的・政治的役割と活動についての討論、31 期機構・役員検討委員会設置についての討論が行われました。

広報では、「スポーツのひろば」を普及するにあたり、都道府県連盟の購読実態調査・キャンペーンチラシの配布・全国連盟役員全員が購読の呼びかけ運動をしていきます。また、全国連盟の方針・情報を伝える「全国通信」は、理事会と理事会の間にも発行していくことが確認され、少しでも早く多くの情報を発信していきます。

（記：福島）

広島県連盟づくりについて

8 月 5 日の広島での集会「平和のつどい」までに、県連盟づくりをめざします。先ず、5 月中に関係者の集まりを持ち、そこで一定の方向性を持てるように準備します。

◎広島県連盟結成の具体化のための準備会議

- ・ 期日 5 月 26 日
- ・ 対象 空手、労山、スキー、卓球、ランニング、ミックスバレー、
体育同志会の関係者、その他
- ・ 内容 スポーツ連盟をよく知ってもらうための学習会的なものをいれ、
組織づくりの相談

◎5 月の準備会議を受けて、8 月 4 日の午前中に結成総会に向けて準備

「中国、四国、九州地域での組織拡大をめざす活動経験交流集会」(仮称)の開催

評議員会方針で示されている 2013 年度活動の重点として、『暖かさと連帯に充ちた多様なスポーツ活動を広げ、「スポーツの仲間づくり運動」をダイナミックにすすめよう』があります。その具体化として、ブロックの共同の力の発揮、都道府県連盟と全国・地方種目組織と連携、局間との連携を図り、連盟全体の発展を目指すことが焦眉の課題です。

広島での県連盟づくりをはじめとする中国、四国、九州での組織拡大を図る標記集会を開催します。なお、「スポーツマンの平和のつどい」を成功させるために可能な限り連携を図ります。（翌日の集会にも極力参加してもらう—4 日の宿泊費は自費参加）

- ・ 期日 8 月 4 日（日）PM1：00～5：00
- ・ 規模 20 名
- ・ 対象 西日本の府県連盟組織の代表と関連する全国種目組織、準備組織の関係者
- ・ 内容 中国、四国、九州での組織拡大をいかに図っていくか・・・基調報告
広島県連盟立ち上げ経緯
卓球での九州全県での祭典開催の戦略
福岡県連盟の組織拡大戦略
- ・ 財政 交通費の予算を立てる。（約 30 万）
組織拡大交流会費から支出する。
- ・ 事前準備会 5 月の広島県連盟結成の具体化のための準備会の時に、この集会の打ち合わせも行う。

（2013 年 4 月 14 日 スポーツ活動・組織局）

第30期第5回理事会へのスポーツ活動・組織局からの報告と提案より

スポーツ活動・組織局 文責 北川 登

1、2/24 第1回評議員会以降の主な取り組み

- ・3月3日に奈良、4月6日に京都でウォーキングクラブが結成され近畿地域すべてにクラブが結成されました。これによって、奈良県では野球組織と卓球クラブに続いて3つ目の加盟種目となり、奈良県連盟つくりには拍車がかかります。
- ・3月14日FSGTの「パラリンピック陸上競技大会」の招待に関連して、塩家氏（日本身体障害者陸上連盟・強化委員）と懇談しました。
- ・岩手では、来年小岩井農場でハーフマラソンに挑戦します。宮城では、新体制になって、新春マラソンの会場探しを始めました。
- ・関東ブロックの会議を2年振りに開催しました。
- ・2011年の11月から労山の個人加盟制度が本格稼働し、現在70名が新規に加盟しました。

2、当面の活動の重点

1) スポーツ懇談会の具体化—新しい県連盟の確立をめざして

毎年、反核マラソン、「平和のつどい」を開催し、多くのスポーツ関係者ともつながりができている広島で県連盟づくりを目指します。そのための事前準備会を5月26日に開催予定です。また、今年度、重点地域となっている他の地域の青森、茨城、熊本などでも早急に具体化を図っていきます。

2) 出前大会の発展のために

2013年は、出前大会を開催する種目を増やしていきます。バレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトボール、野球でも最低1地域以上の空白地域での開催をめざします。その際、全国種目組織と都道府県連盟の協力、ブロック間の相互援助を図りながら、組織づくりも展望しながら取り組んでいきます。

卓球では、今年42都道府県で地方祭典の計画が確定しています。今年は、新しく長崎県で初めて開催をします。

いずれも出前大会の開催には、スポーツ連盟の宣伝物が必要であり、連盟全体のリーフレット以外にも各種目でも必要な宣伝物を作っていくようにします。

3) 各分野での取り組みを進める

昨年は、以下の分野でほとんど取り組めなかったので、担当も決め今年もう一度打開を図っていきます。

- ・子ども分野—— 以前からある子どもネットワークを再開し、取り組みを強めます。
現在、バドミントン、卓球などでは中学生、高校生を対象に競技大会を開催し、人気を博しています。ランニングでは、月例マラソンや、陸上大会に小学生や中学生が多数参加してきています。競技大会以外にも、スポーツ教室などの開催やジュニア分野での緩やかな組織化も検討していきます。
- ・女性分野—— 女性の参加が多い種目では、女性自身の手で大会運営などを担うようにし、女性の役員を増やしていくことが必要です。平日の会場を活用してもっと大会を旺盛に開催していきます。
- ・障害者スポーツ—— 先ずは、担当者を配置し、連盟内外の障害者スポーツの事態を把握し、何かできるかを考えていきます。

この間、連盟では、あまり手つかずにおかれた分野ですが、最近の周りの障害者のスポーツへの参加は増大してきています。また、健常者と一緒に行う企画も増えてきています。

このような現状を踏まえて、スポーツ連盟でも、もっと障害者スポーツに目を向けていく必要があります。

スポーツ権・平和運動局の2013年度の活動方針

スポーツ権・平和運動局長 青沼裕之

第一は、国民のスポーツ権実現とスポーツの民主的な発展をめざす活動を進めることです。

今年度も、昨年暮れに開催されたスポーツ科学研究所準備委員会とスポーツ9条の会共催の「討論・スポーツ基本法と地域スポーツ—東京と神奈川で今起こっていること—」と題する研究交流集会（2012年12月22日開催。スポーツのひろば2013年3月号掲載）のような企画を、本局も協力して積極的に立案、実施してゆきます。

スポーツ基本法の学習、討議を進めるとともに、各自治体での地域スポーツ推進計画についても検討してゆきます。この件については、各都道府県連盟との共同の取り組みが重要です。

本局を中心とした対文部科学省交渉と都道府県連盟による対自治体交渉を進めます。「全国通信」等を使って、各自治体へ提出する要望書のマニュアル作成に向けた材料を提供するよう努めます。

第二は、スポーツ分野の反核・平和の取り組みを一層ひろげることです。

今年度も国民平和大行進に取り組みます。東京夢の島での出発集会へ参加するとともに、県から県へのリレー旗の受け渡しと受け取りを確実に行うよう要請します。

また、昨年同様に、反核平和マラソン参加者を激励する広島集会を開催します。2013年度はフランス・韓国の代表団が参加しないこともあり、この催しを盛り上げるために、次の3つの提案（第1に、各地域での反核平和マラソンへの新たな取り組みを激励する場にする、第2に、在日外国人にも呼びかけること、第3に、広島県連盟結成に向けた支援と激励の場にする）を盛り込んだ広島集会にしようと考えましたが、スポーツ組織活動局との合同会議の討議に基づき、広島県連盟結成の準備活動とは切り離して、第1と第2の提案を加味した従来通りの広島集会の開催を目指すことになりました。

次に、連盟創立50周年記念事業の一つでもある「被爆70年東京—広島—長崎反核・平和マラソン」の企画、準備についてです。この催しは2015年7月27日～8月8日に開催される予定ですが、逆算して今年中に日程を決め予算措置を講じるなど企画をし、2014年3月の総会には確定した計画を報告する必要があります。ホームページで呼びかけることも必要となります。北海道と埼玉、そして静岡での反核平和マラソンの実現に向けて努力します。そして、各県から代表1名とランナー1名が参加できるように働きかけてゆきたいと思えます。



第三は、2020年オリンピック東京招致撤回の運動を進めることです。今年9月のIOC総会で2020年オリンピック大会開催地が決定される流れを踏まえて、東京都連盟等による「東京五輪開催に異議あり」の運動に協力・協同してゆきます。

第四は、「原発ゼロの社会をめざす」活動です。全国理事の間間さん（東京都）に担当になって頂き、局として全国—地方の情報交流を積極的に進めてゆきたいと思えます。

最後に、韓国体育市民連帯主催の国際平和フォーラム（8月12日）の企画、準備を国際活動局とともに進めてゆきます。

原発ゼロをめざす中央集会（仮称） 主催：原発をなくす全国連絡会
明治公園から国会周辺までのデモ行進に参加を呼びかけます

2013年6月2日（日） 場所：明治公園（東京）
14：00～16：00 主張をアピールするデモ行進
（反原発国会大包围16：00～19：00に合流します）

CSIT（国際勤労者・アマチュアスポーツ連盟）に加盟することの継続討論

国際活動局 伊賀野 明

昨年12月、第3回理事会の第1次資料では、①CSIT 新規約（2011年リオデジャネイロ総会規約の訳出・抜粋）。②CSIT への加盟手続きと申請書類、加盟に必要な経費試算。③1984年の第15回全国総会の「加盟について検討に着手する」方針にはじまるCSIT加盟問題の経過。④2012年の第30回全国総会での「IOCの承認団体であるCSITへの加盟に向けた検討を行う」という再度の加盟方針について、近年のCSITの目標、国際環境の変化も含めて検証し、「加盟に向けた検討」することが時期にかなっていないとの判断。⑤加盟にあたっての諸々の基準・条件や加盟の意義（組織規模や世界的な広がり、加盟によって日本における政府・スポーツ団体等に及ぼす影響、加盟実現のための4年間の必要経費仮計算、ワールドゲームズ等実際のスポーツ活動の紹介）の資料・情報提供をおこないました。

今年4月の第5回理事会では、以下の点を報告しました。

- ①最新のCSITのHPで、CSITが自己紹介として述べている内容に注目しました。そこでは、CSITメンバーは「アフリカ・アメリカ・アジア・ヨーロッパ起源のメンバー」および8つの国際スポーツ組織と結びついており、それらとの「国際共同事業の展開」を通じて、勤労者のスポーツ活動を促進し、その活動は、「民主主義、連帯、そしてスポーツを通じて生活の質の向上への願望」を支援し、よって、全てのスポーツ組織を包含したいとの願いを述べていること。
- ②NJSFの国際組織（CSIT）加盟と既存組織の国際組織（TAFISIAとANOC）との比較検討で判明したことは、NJSFが加盟検討しているCSIT、日本体育協会が加盟しているTAFISIA（国際スポーツフォアオール協議会）、JOCが加盟しているANOC（国内オリンピック委員会協議会）のいずれも、IOCにより承認された組織であることです。IOCの承認スポーツ組織のグループは4つあり、ANOCは第2のNOC Associations（国内オリンピック委員会協議会）にあり、CSIT、TAFISIAは第4のグループMulti-Sports Organizations and Events/Sports for All（総合スポーツ組織・イベント、スポーツフォアオール）組織に記載があります。つまり、NJSFがCSITに加盟実現すれば、NJSFの国内的位置及びCSITを介しての国際的なIOCとの繋がり、既存組織である日本体育協会（JOC含む）が発表している組織図上におけば、CSIT・新日本スポーツ連盟は、TAFISIA・日本体育協会と同等・同格であり、CSIT・TAFISIAがIOCの承認関係となることを明らかにしました。

積極的な意見と討論がなされる

理事会での討論は、昨年と異なり、かなり前向きに、多くの意見がだされました。日体協などの国際組織とのつながりをCSITとの関連でも図で表現するようにすること。スポーツ基本法ができ、従来以上にスポーツによる国際交流が重視されていることを考慮し、自己財源の他、寄付金や公的財政助成を受けるための条件や既存組織の公的財政確保実態を調査すること。CSITの具体的な種目活動とその実態がリアルにわかるようにすること。国際活動の重要性にふさわしい予算規模の拡大を可能とする組織拡大を実現すること。全国大会上位者・チームがCSITの世界選手権大会等に出場することが可能になるなど連盟会員の利益・魅力をわかってもらえるようにする。ワールドゲームズポスターに五輪のマークが印刷されていることに象徴されるように、CSITに加盟することで、自らの組織が国際的に認知され、日本を代表するスポーツ組織となるというとならえ方が必要。IOCに認知された国際組織に入るとは、体協等の組織と同格になる。等々でした。

国際活動局として、当面①国際関係図を完成させること。②CSITでのサッカー、卓球、陸上での活動実態を調査する。③財政面で寄付等の受け皿となれる組織体の研究、寄付などの検討を始めること。を決めました。

＜創立 50 周年7大記念事業の分担＞

第30期第1回評議員会（2013/2/23～24）で確認された、創立50周年7大記念事業の具体化を進めるために、それぞれの事業を全理事が分担して執行に当たることを確認しました。そして、8月の理事会までに企画、予算案、執行計画の概要を具体化することとしました。

スポーツ連盟50年史	◎青沼、○永井、和食、福島、伊藤（顧問）、中村（協力者）
国際シンポジウム開催	◎伊賀野、○青沼、○和食、野口、石川、浅沼、間間、小林、長井花村、佐藤（静）、佐藤（好）、松野、山口
東京～広島～長崎 1500 km	◎吉成、○石川、○萩原、川野、渡辺、青嶋、大友、岡本、神田、永谷、根岸、松岡、三木、和田
スポーツ科学研究所設立	◎永井、○青沼、和食、石川、福島、伊藤（顧問）、中村（協力者）
顕彰	◎北川、○野口、水門、伊藤（司）、福島、竹折、脇村、永井
記念レセプション開催	◎福島、○岩波、斉藤、板垣、天川、佐藤（信）、城川、福島（宏）、富内、橋本、和食
記念グッズの作成・販売	◎福島、○板垣、佐藤（信）、城川

◎：責任者、○：副責任者。なお、今後若干分担を調整することもあります。

＜第31期機構・役員検討委員会の設置＞

新日本スポーツ連盟第31期機構・役員検討委員会を下記の通り設置すること確認しました。

1、本検討委員会は、創立50周年を展望し、第31期の全国連盟の機構と役員のあり方の検討および人事の調整を行うことを任務とします。

2、検討委員は以下の8人とします。

- ・永井博：会長
- ・岩波道子：副理事長
- ・和食昭夫：理事長
- ・板垣美和子：理事
- ・福島邦夫：事務局長
- ・佐藤信樹：理事
- ・青沼裕之：副理事長
- ・脇村元夫：理事

＜「体罰」・暴力根絶について＞

評議員会以降、各連盟組織で、スポーツにおける「体罰」や暴力的な指導の実態や課題などが活発に議論されていることが交流されました。同時に、暴力を容認する体質の根深さも報告され、地域やクラブから粘り強い討論を行っていく必要性が強調されました。そして、評議員会で確認された「スポーツから『体罰』・暴力・ハラスメントをなくすための共同を！」の声明文を大会のプログラムに掲載するなどあらゆる機会にアピールしていくことを確認しました。

＜スポーツ団体が果たす社会的、政治役割とその活動のあり方を引き続き検討する＞

2012年12月の第3回理事会で継続審議となっていた、政治や選挙へのスポーツ連盟の対応方針案について、和食理事長の問題提起をうけ討論を深めあった。今回の討論では、これまでの国や自治体などの行政府への要請行動（請願、陳情、署名、交渉）をさらに強化するとともに、立法府としての国会、地方議会およびそれを構成する各政党・会派、議員への働きかけの意義を明確にし適切に行うこと、日常的にも選挙においても、政党・会派、議員との関係では、スポーツの要求を実現する政策にもとづく共同を軸に行動することが基本であることなどが論議されました。これらの討論を踏まえ、8月の理事会でまとめの討論を行うこととしました。

（記：和食）

全国会議及び主要事業予定一覧 (2013年5月～9月)

月日	全国、都道府県連盟・全国種目組織	
5月	2日 ひろば6月号発行	
	3～5日 全国RC:伊豆稲取ランニングクリニック	
	6日 原水爆禁止国民平和大行進東京～広島スタート	
	5～14日 全国RC:FSGTツール・ド・ペイ・コーマラソンへ派遣	
	12日 和歌山:核兵器のない世界をめざすマラソン	
	18日 滋賀県連盟総会	
	26日 和歌山:核兵器のない世界をめざすマラソン	
6月	25～26日 全国野球協:選抜野球大会(静岡)	
	1～2日 全国交流ウォーキング(富士山)	
	2日 原発ゼロをめざす中央集会(明治公園)デモ行進～反原発国会大包围	
	2日 全国ランニングセンター-関西クリニック	
	2日 徳島反核平和マラソン、高知反核平和マラソン、香川反核平和マラソン	
	7日 ひろば7・8月号発行	
	8～9日 全国勤労者スキー協議会代表者会議	
	9日 名古屋1周平和大好きマラソン、富山反核平和マラソン	
	15日 石川反核平和マラソン	
	16日 京都反核平和マラソン、三重県連盟総会、	
	22日 神奈川県連盟総会、石川県連盟総会	
	22～23日 全国バドミントン競技大会団体	
	23日 兵庫県連盟種目代表者会議	
	24日 石川反核平和マラソン	
	30日 和歌山反核平和マラソン、群馬反核平和マラソン	
30日 愛知県連盟45周年記念行事		
7月	愛知県連盟総会	
	7日 宮城反核平和マラソン、三重反核平和マラソン&ウォーキング	
	7日 大阪関西網の目反核平和マラソン	
	7日 和歌山平和大好きウォークマラソン、愛媛反核平和マラソン	
	13～14日 神奈川反核平和マラソン	
	14日 大阪府連盟第47回定期総会、兵庫平和マラソン	
	15日 千葉反核平和マラソン	
	21日 福岡ニコニコベースの平和マラソン	
	27日 東京反核平和マラソン、青森平和駅伝&ウォークの集い	
	長野県連盟総会、全国ソフトボール理事役員会	
8月	1日 ひろば9月号	
	全国ランニングセンター-信州クリニック	
	4日 あいち反核・平和マラソン&ジョギング(鶴舞公園)	
	5日 石川反核平和マラソン	
	6日 滋賀:反核平和マラソン、広島城周回マラソン	
	6～8日 反核平和マラソン(広島～長崎)	
	12日 韓国民連帯第1回国際フォーラム	
	24～25日 30期第6回理事会	
	9月	3日 ひろば10月号発行
		28～29日 全国スポーツセミナー:岩手県盛岡

* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。

東北復興支援 「義援金」報告

2013年4月14日 第5回理事会より

義援金募金 2011年3月～ 全国連盟口座への振り込み分

A義援金(スポーツ連盟支援募金)	募金 合計	8,751,013円
*FSGTからの支援募金の合計 890,011円を含む		
B義援金(公的機関への募金)	募金 合計	178,976円
2011年12月8日朝日新聞厚生文化事業団へ送金		

A義援金(スポーツ連盟支援募金)充当状況 2011年3月～

被災者お見舞金	3,620,000円
宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援)	1,483,270円
東北連盟支援金(全国分担金、「スポーツのひろば」誌代)	827,179円
行事・競技会、ボランティア活動への支援金(2012年3月～)	882,765円
充当 合計	6,813,214円

募金 残高 1,937,799円

「スポーツ交流支援」行事・競技会への募金活動に、ご協力をお願い致します。

2013年度全国競技大会開催一覧

2013年4月22日現在

種目	開催日	開催県	施設名	
水泳	11月3日	東京都	辰巳国際水泳場 (都大会を兼ねる)	
野球	11月2日～3日	岐阜県	岐阜市内中心	
バレーボール	11月16～17日	埼玉県	16日=栃木市総合体育館、久喜市 17日=栃木市総合体育館	
卓球	一般	12月7～8日	神奈川県	小田原アリーナ
	年代別	11月30～12月1日	北海道・札幌市	北海きたえーる
テニス	11月16～17日	愛知県	名古屋市 東山公園テニスセンター	
サッカー	東日本	10月6日	千葉県	青葉の森
	西日本	11月10日	大阪府	南津守さくら公園
	ファイナル	12月1日	兵庫県	ユニバ記念補助競技場
バドミントン	シニア	11月16日～17日	大阪府	J-GRREEN堺
	団体戦	6月22日～23日	愛知県	名古屋市東スポーツセンター
ソフトボール	個人戦	12月7日～8日	愛知県	名古屋市守山スポーツセンター
	東日本	10月5日、6日	神奈川県	厚木市酒井スポーツ広場、玉川球場
ウォーキング	西日本	11月10日	京都府	太陽が丘競技場
		6月1日～2日	静岡県	富士山と青木ヶ原樹海を歩く
ミックスハレーボール	11月30日～12月1日	静岡県	浜松アリーナ	
スキー	2014年3月	長野県	戸狩温泉スキー場(予定)	

石川啄木・宮沢賢治・平泉～文化の香り高いふる里 岩手で

スポーツセミナー in 岩手

主催 新日本スポーツ連盟
 主管 新日本スポーツ連盟岩手県連盟
 後援 盛岡市・盛岡市教育委員会

■とき **2013年9月28(土)～29日(日)**
 ■ところ **岩手県盛岡市・御所湖 を中心に**
 ■会場 **・ホテル大観(宿泊) ・つなぎ温泉盛岡市御所湖～周辺**
 ※詳細は、5月連休明けまでに確定します。

新日本スポーツ連盟 機関誌

「スポーツのひろば」の購読を オススメします！

キャンペーン
実施中
2014年
3/31
まで



もっと
スポーツ連盟を
知ろう



只今キャンペーン中

加盟員の
新規読者の価格 年間**2,900円**
年10回発行 (送料込みの場合 3,600円)

通常定価 450円 年間購読 5,200円 (送料込み)

新日本スポーツ連盟は、1965年の創立以来「スポーツ
きみが主人公」の理念のもと、誰もがスポーツを楽しめる社
会を目指して、さまざまな活動をしています。自主的なス
ポーツクラブの活動を支援したり、スポーツ環境の整備・拡
充を図る運動をしながら、「スポーツをやりたい、うまくな
りたい」という要求をみんなで協力して実現できるように
取り組んでいます。

機関誌「スポーツのひろば」は、このようなスポーツ連盟
の活動・理念を多くの人に知ってもらいたい、生涯を通じて
スポーツするために役立つ情報を発信したいという想いの
もとで発行されています。種目の枠を超えた総合的なスポ
ーツ情報誌です。是非、豊かなスポーツライフをつくるために、
「スポーツのひろば」の購読をオススメします。

★スポーツに役立つ情報満載

- ・なぜ筋肉痛になるの？ 筋肉痛にならない方法
- ・「選手宣誓のときになぜ手を挙げるの？」
…スポーツの素朴な疑問 10
- ・愛ちゃんの「サー！」の効果は…スポーツと声の不思議
- ・スポーツドリンクはそのまま飲むか、薄めて飲むか？
- ・「完璧」を捨てよう…Let's プラス思考
- ・ボールを直視しちゃダメ？ スポーツと「みる」のこと
- ・スポーツ中に倒れる人が増えている!?
- ・100歳でも筋力は強くなる！ 成田さんの筋トレ法
- ・スポーツをするとき、どんな呼吸をしている？
- ・楽しいパートナーストレッチ (過去の記事内容より)

ご購入のお申し込みは

お電話

FAX

Eメール

ホームページ

をご利用ください

「ご氏名」「ご住所」「クラブ名(新日本スポーツ連盟加盟の方)」「スポーツのひろば購読希望の旨」を明記のうえ、
下記の連絡先へお申込みください。詳しい内容はホームページからでもご覧になれます。
※お支払いは同封の郵便為替「払込取扱票」をご利用ください



QR コード

スポーツのひろば

検索

ホームページアドレス

<http://www.njsf.net/hiroba/>

TEL 03-3986-5401 FAX 03-3986-5403 E-mail hiroba@njsf.net

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402 発行元:新日本スポーツ連盟